



C S R
環境報告書
2017



JFE プラリソース 株式会社

JFE プラリソース株式会社は
容器包装プラスチックの再商品化事業を通じて
資源循環型社会づくりに貢献します。

企 業 理 念

「 JFE プラリソース株式会社は、
環境と調和した社会の構築に貢献します。」

行 動 規 範

「 挑戦。柔軟。誠実。」

目次

ご挨拶	・・・1
会社概要	・・・2
コーポレート・ガバナンス	・・・3
事業紹介	・・・6
社会活動	
お客様・お取引様とともに	・・・8
地域社会の皆さまとともに	・・・9
社外からの評価	・・・11
従業員とともに ～安全衛生活動～	・・・15
従業員とともに ～安全・健全な環境に～	・・・18
従業員とともに ～やりがいのある職場に～	・・・20
環境活動	
環境マネジメント	・・・22
環境経営への取り組み	・・・27
環境と調和した製品・サービス	・・・35

CSR・環境報告書 2017 電子版は、以下のサイトでご覧いただけます。

- ・ JFE プラリソース株式会社ホームページ
- ・ CSR図書館.net
- ・ 福山市次世代エネルギーパークホームページ「施設からのお知らせ」

資源循環型社会づくりへ貢献

代表取締役社長

田村 望



JFE プラリソース株式会社は 2009 年 7 月、JFE 環境株式会社の『容器包装プラスチックリサイクル事業』を会社分割して承継しました。以来、高炉やコークス炉へのプラスチック利用及び材料リサイクルを含めたプラスチックリサイクル事業を通して、資源循環型社会づくりに努めております。

NF ボード[®]を利用した材料リサイクルにより『廃プラスチックリサイクル推進とCO₂削減』、更に使用後再リサイクルすることにより『化石燃料削減』等を実現しています。環境に優しい企業として、市民の皆様へのリサイクルの『見える化』に注力し、各種リサイクルを推進しております。

また、環境保全は本事業の根幹であり、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、全員参加型の環境マネジメント活動を継続展開し、トップレベルの環境配慮型企業を目指します。

現場パワーアップを通して働きがいのある会社として、社員一同一致団結して『創意・挑戦・創造』する会社づくりに向け頑張っていきたいと考えております。

弊社に対し、より一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

代表取締役社長

田村 望

会社概要

会社名 J F E プラリソース株式会社
代表者 代表取締役社長 田村 望
役員 取締役 鈴木 克紀 杉澤 元達 平田 直人 後藤 俊二
監査役 岡田 宜之 (2017年4月現在)

設立年月日 2005年11月
2009年3月登記(定款・社名変更)

資本金 90百万円

売上高 約30億円

従業員数 約70名

住所 本社及び 〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1
京浜事業部 TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328
福山事業部 〒721-0956 広島県福山市箕沖町113番地
TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170

URL <http://www.jfe-plr.co.jp/>

事業内容 一般廃棄物の再資源化およびリサイクル事業
上記事業に関する技術・装置および再生プラスチック商品の販売

沿革 2000年4月 水江原料化工場稼働(処理能力185t/日)
福山原料化工場稼働(処理能力200t/日)
2002年9月 N F ボード製造工場稼働
2009年7月 J F E 環境株式会社から容器包装プラスチックの
リサイクル事業を承継
J F E スチール株式会社が全株式取得



京浜事業部
水江原料化工場



京浜事業部
N F ボード製造工場



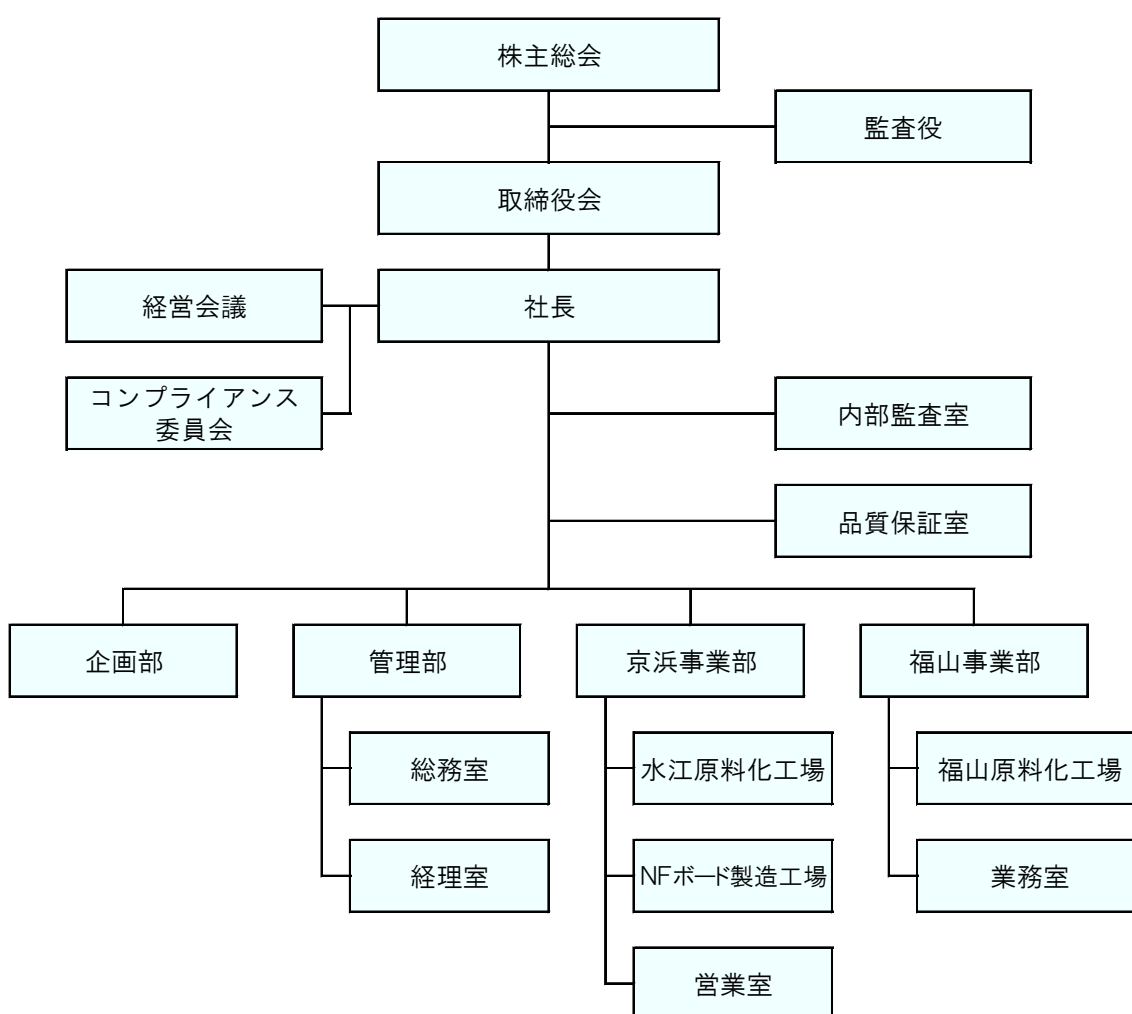
福山事業部
福山原料化工場

コーポレート・ガバナンス

JFEプラリソース株式会社は、ステークホルダーの皆様のニーズと期待に応えることを企業経営の最重要課題とし、体制の整備を図っています。

経営体制

スリムな経営体制を構築し、効率的に事業推進することで、競争力の強化と収益力の拡大を図っています。



内部統制

内部統制体制は、取締役会規則などの会議規程の制定、組織・業務規程の制定、企業倫理ホットラインの設置などによって整備しています。企業価値を持続的に向上するため、整備・運用状況について定期的に確認し、改善に努めています。

また、内部監査室による監査を定期的実施し、自己チェックを進めています。

社会を構成する一員としての企業の責任を自覚し、より良い社会の構築に向けて企業の社会的責任（CSR）を果たすべく、取り組みを強化しています。

JFEプラリソース株式会社 行動指針

JFEプラリソース株式会社の役員および社員は、「企業理念」の実現に向けたあらゆる企業活動の実践において、「行動規範」の精神に則るとともに以下の「行動指針」を遵守する。

経営トップは自ら率先垂範の上、社内への周知徹底と実効ある体制整備を行い、企業倫理の徹底を図る。

本行動指針に反する事態には、経営トップ自らが解決にあたり再発防止に努める。また、社内外への迅速かつ的確な情報公開を行い、権限と責任を明確にした上で厳正な処分を行う。

1. 良質な商品・サービスの提供

優れた技術に基づいた安全で高品質の商品とサービスの提供に努めるとともに、個人情報・顧客情報の保護に十分配慮し、お客様から高い評価と信頼を得る。

2. 社会に開かれた企業

株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報について、社会への積極的な情報公開に努める。

3. 社会との連携と協調

良き企業市民として、社会との連携と協調を図り、積極的な社会貢献に努める。

4. グローバル化

グローバルな視点を持ち、各種の国際規範はもとよりそれぞれの文化や習慣を尊重し、世界の様々な人々との相互理解に努める。

5. 地球環境との共存

地球環境との共存を図るとともに、快適な暮らしやすい社会の構築に向けて主体的に行動する。

6. 政治や行政との関係

政治や行政との健全かつ正常な関係の維持・構築に努める。

7. 反社会的勢力への対応

市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、一切の関係を遮断し、違法・不当な要求には応じない。

8. 人権の尊重

社会の人々、従業員を個として尊重し、企業活動において一切の差別を行わない。

9. 働きがいのある職場環境

従業員にとって魅力に富み、安全で働きがいのある職場を提供する。

10. 法令の遵守

法令を遵守し、公正で自由な競争に心がけ、適法な事業活動を行うとともに、健全な商慣習に則り、誠実に行動する。

▶ コンプライアンス（法令遵守）の徹底

経営の最重要課題である「コンプライアンス（法令遵守）」をCSRの基礎として位置づけ、社長をリーダーとするコンプライアンス委員会を開催し、以下の審議や情報交換を行うとともに、諸施策を実施しています。

- ・ コンプライアンス基本方針の審議・決定
- ・ コンプライアンス課題と対策の検討・実施
- ・ コンプライアンス案件の紹介と社内での周知徹底

▶ 企業倫理ホットラインの運用

コンプライアンスにかかわる重要情報が現場から経営トップ（社長）に迅速かつ正確に伝わるよう、京浜地区・福山地区それぞれに「企業倫理ホットライン」を設置しています。運用にあたっては、通報・相談者の保護に関する規則を定めています。

▶ 業務プロセスチェックの実施

事業を推進する上で発生する契約管理・環境管理などの日々のさまざまな業務について、法令遵守状況を定期的に確認する仕組みに則り、業務の適正化に努めています。

リスクマネジメント

事業を取り巻くあらゆるリスクを予防し、緊急事態が起こった際にも事業を継続していけるよう、リスクマネジメントに取り組んでいます。

全社業務のリスクは、内部監査室が中心となって統括し管理しています。多様化する社会動向に対応するため、情報の収集・分析などにも注力しています。

各工場では生産業務上のリスクを洗い出し、評価・対応策を検討し、実行状況を管理しています。重要リスクを毎年見直し、各年度で重点課題を設定して継続的な改善を進めています。また、工場間の情報交換や情報共有により、全社一体のマネジメントを推進しています。

大規模災害への対応として、安否確認体制の構築・備蓄品の整備・重要継続業務リストの作成などを進め、対策の強化を図っています。

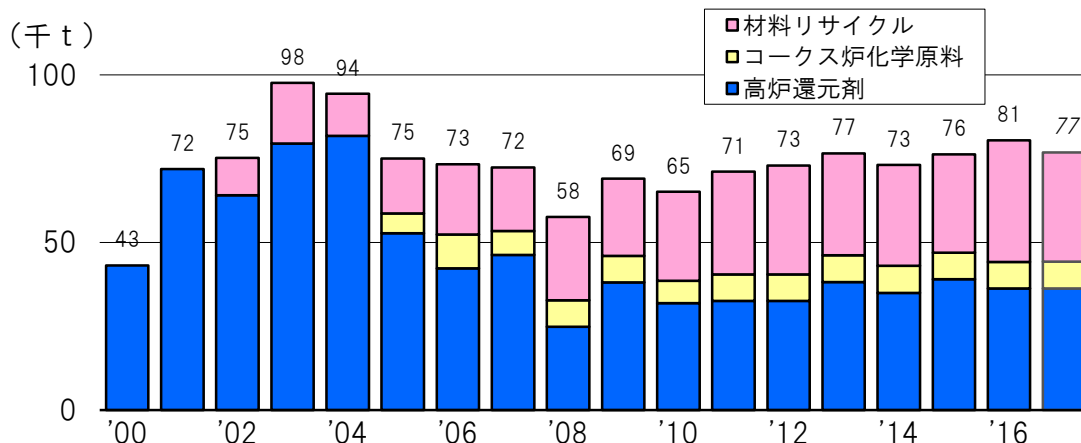
事業紹介

容器包装プラスチックのリサイクル

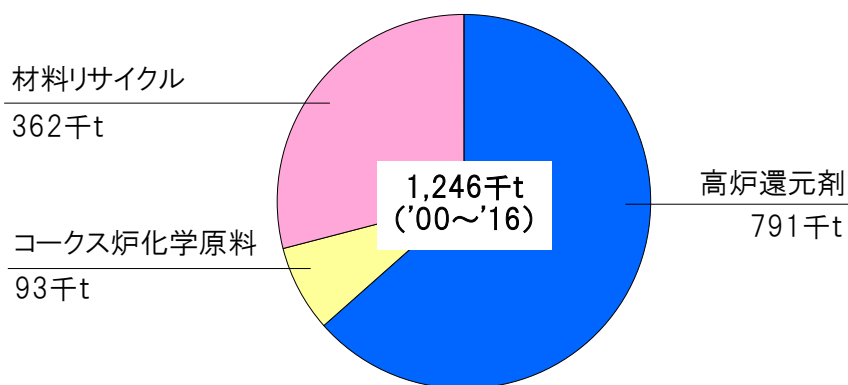
当社は、「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)」に基づき事業を行っています。一般家庭から排出される容器包装プラスチックのリサイクルには、5つの手法が定められており、当社は2000年4月の法施行と同時にリサイクルを開始し、現在「高炉還元剤」、「コークス炉化学原料」、「材料リサイクル」の3手法を行っています。

▶ 容器包装プラスチックリサイクル量の推移

・年間リサイクル量



・リサイクル量の内訳

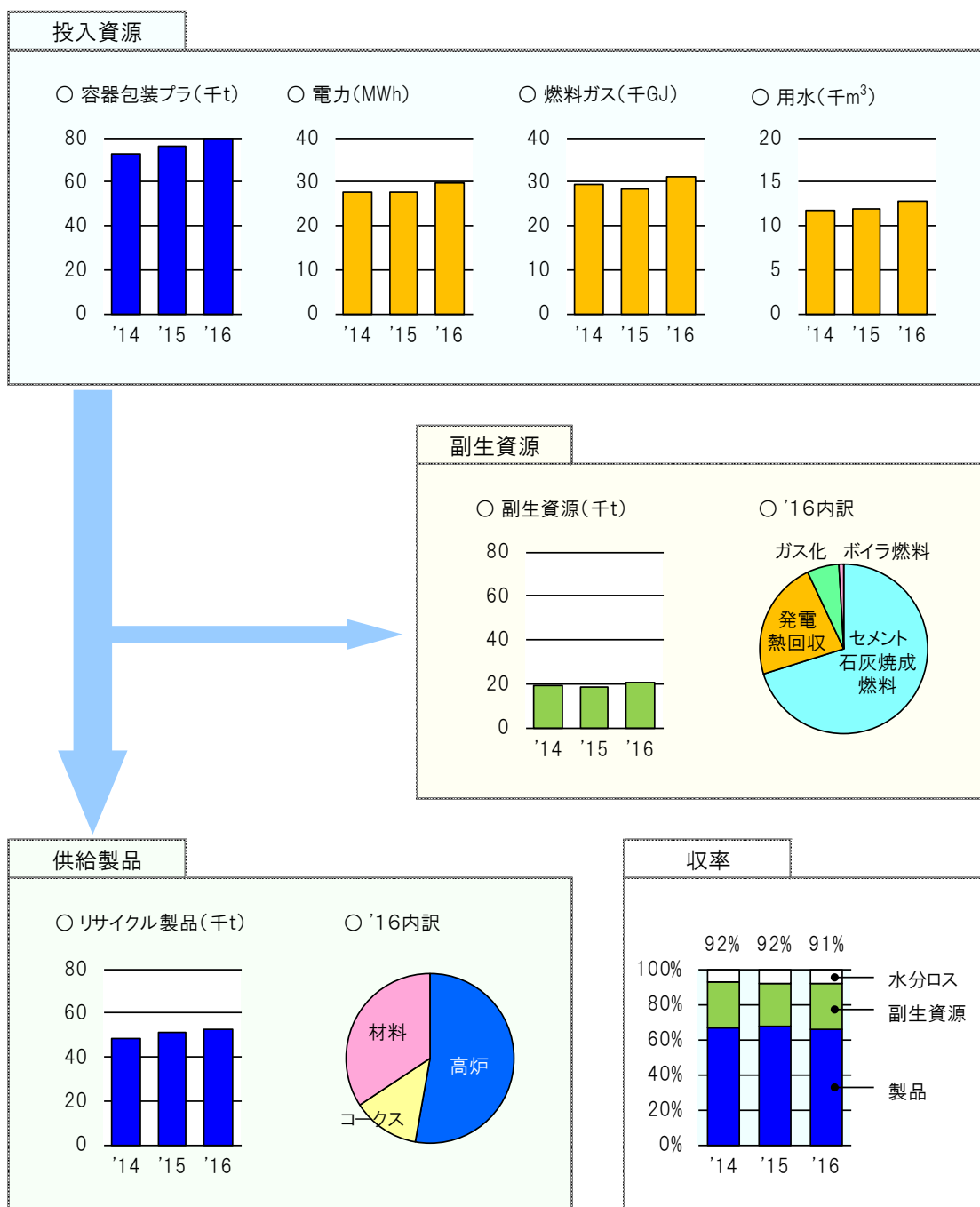


2000年度の事業開始以降、トータル1,246千tの容器包装プラスチックをリサイクルしてきました。これは、全国総量の約13%を占めています。

リサイクルのマテリアルフロー

一般家庭から排出された容器包装プラスチックを原料として、「高炉還元剤」、「コークス炉化学原料」、「材料リサイクル」のリサイクル製品を製造しています。

リサイクル製品の収率は約 66%です。約 25%の副生資源は、セメント・石灰焼成燃料等に利用される他、2015 年度よりガス化リサイクルもされています。両者を合わせた総合収率は 90%強となり、水分ロス以外のほぼ全量が有効利用されています。容器包装プラスチックリサイクルは、優れたリサイクル手法であると言えます。



お客様・お取引様とともに

品質管理・CS（お客様満足）向上

生産部門から管理部門まで技術標準を制定し、徹底した品質マネジメントを推進しています。お客様とのコミュニケーションを積極的に図り、ご意見・ご要望に真摯に対応して、課題に取り組むことで、お客様満足の向上をめざしています。

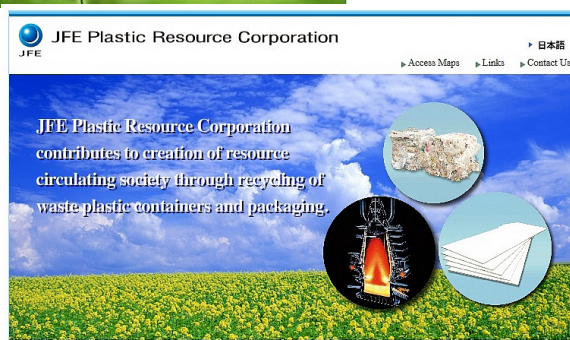
新たな活動として2016年度には、ISO9001（品質マネジメントシステム）認証取得に向けた取り組みを開始しました。同時に、ISO18263（包装由来PP及びPE樹脂に関する規格）に沿った品質管理を行い、規格コードに適合（合格）した製品のみを出荷及びNFボード®原料とする仕組みを構築し実行しています。また、お客様からのクレーム件数ゼロを目標として、日々の品質管理に全社体制で取り組んでいます。

社会とのコミュニケーション

ステークホルダーの皆様との双方向窓口として、ホームページを活用しています。事業紹介などに加え、環境に関する維持・管理・推進活動について環境計測結果を開示するなど、積極的な情報公開に努めています。また、お問い合わせや資料請求にもタイムリーにお応えしております。事業所の所在自治体（川崎市・福山市）関連サイトにもリンクし、閲覧いただいた皆さまの便を図っています。

国内外を問わず開かれた会社づくりをめざし、ホームページ上では英文によるご案内も行っております。

➤ <http://www.jfe-plr.co.jp/>



訪問されたお客様に対して

お客様ルームを設置し、原料から製品までの製造フローパネル、当社製品、当社製品を利用した商品を展示し、リサイクルを身近に感じていただく工夫を行っています。

商品開発室を公開し、製品品質向上への取り組みを紹介し、情報公開に努めています。



福山 お客様ルーム



京浜 お客様ルーム



福山 商品開発室

地域社会の皆さまとともに

工場見学会の開催

地域社会に開かれた会社をめざして、一般市民の皆さまの見学を積極的に受け入れています。DVD・パンフレットを用いた概要説明、お客様ルームでの製品紹介、工場ラインの見学を通して、市民の皆さまに密着している会社事業をご案内しています。市町村の行政機関や海外の方々にも、ご視察いただきました。

2016 年度見学実績

	件数	人数
一般	4	133
企業・団体	13	50
中央官庁	2	3
市町村	14	45
海外	1	10
計	34	241



ISO39001 認証取得（道路交通安全マネジメントシステム）

交通事故の発生は、企業にとっての財産である従業員の安全や生命をおびやかすリスクのひとつです。同時に、社会的な信用喪失を引き起こし、事業存続の危機にも繋がりが得る重要な事項です。当社福山事業部は 2015 年 9 月、JFE スチール株式会社西日本製鉄所（福山地区）とともに、ISO39001 の認証を取得しました。

ISO39001:Road traffic safety (RTS) management systems - Requirements with guidance for use は、2012 年に発行しました。ISO39001 による道路交通安全マネジメントシステム「RTSMS (Road Traffic Safety Management System)」は、道路交通安全に関わる具体的な目標やアクションプランを作成して、PDCA を実行するものです。交通事故に関連する死亡及び重大な負傷を根絶し、地域の交通安全に貢献する活動を行うことで、企業の社会的責任を果たします。2015 年 4 月の取り組み開始以降、当社福山事業部の交通違反・事故件数はゼロです。今後も継続してまいります。

 <h3>登録証</h3> <p>登録組織：JFE スチール株式会社 西日本製鉄所（福山）</p> <p>所在地：広島県福山市鋼管町 1 番地</p> <p>貴組織の道路交通安全マネジメントシステムは、当社による審査の結果、下記の適用規格の要求事項に適合していることを証します。</p> <p>適用規格：ISO 39001:2012</p> <p>登録範囲：JFE スチール株式会社 西日本製鉄所（福山）の構内における間接部門（補助部門及び常駐する協力会社）も含めた人の移動並びに通勤に関する道路交通安全活動</p> <p>登録範囲に含まれるその他の事業所：付属書に記載</p> <p>登録番号：D006 登録日：2015年 9月17日 有効期限：2018年 9月16日</p> <p>日本検査キューエイ株式会社 東京都中央区新富二丁目15番5号 代表取締役社長 川崎 博史</p> 	 <h3>付属書</h3> <p>登録組織：JFE スチール株式会社 西日本製鉄所（福山）</p> <p>登録範囲に含まれるその他の事業所（1/3）：</p> <p>JFE アップル西日本株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE アドバンテック株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE エストテクノロジー株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE カミカル株式会社：岡山県笠岡市鋼管町 9 番 2 号 株式会社 JFE サンソセンター：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE システムズ株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE シンビル株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE テクノリサーチ株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE プラリソース株式会社：広島県福山市茨沖町 1 13 番地 JFE ミネラル株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE メカニカル株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE ライフ株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 株式会社 JFE 設計：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE 電機株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE 西日本サービス株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE 物流株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 品川リフレクトリース株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 瀬戸内共同火力株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 日本鑄造株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 JFE 環境株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 株式会社 JFE 瀬戸内海エンタープライズ：岡山県笠岡市鋼管町 19-2 株式会社 JFE メカアフレ：広島県福山市鋼管町 1 番地 株式会社 JFE メカフロント福山：広島県福山市鋼管町 1 番地 EM オノエ株式会社：岡山県笠岡市鋼管町 9-2 井上塗装株式会社：広島県福山市鋼管町 1 番地 株式会社 エスオーケー：広島県福山市鋼管町 1 番地 【登録範囲に同じ】</p> <p>登録番号：D006 登録日：2015年 9月17日 有効期限：2018年 9月16日</p> <p>日本検査キューエイ株式会社</p> 
---	--

社外からの評価

スマートライフスタイル大賞（川崎市）

スマートライフスタイル大賞は、「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略」に基づき、CO₂削減に貢献する優れた取り組みを行う市民や事業者を対象とした、川崎市の表彰制度です。地球温暖化対策につながる生活や事業活動の実践や情報提供、普及啓発に関する取り組みやノウハウを発信し広げていくことを目的としています。選考基準は、CO₂削減への貢献、将来への継続性、快適性や豊かさにつながる工夫・改善、他の市民・事業者への波及効果の4点によっています。

第5回目となる2016年度に、当社は奨励賞（地域共生推進賞）を受賞しました。受賞内容は「容器包装プラスチックリサイクル事業による循環型社会づくりの取組」です。事業活動に伴う環境負荷低減や全員参加型の環境マネジメント活動の継続展開が評価されました。今後も環境と経済の調和と好循環に貢献すべく努めて参ります。



かながわりサイクル製品認定（神奈川県）

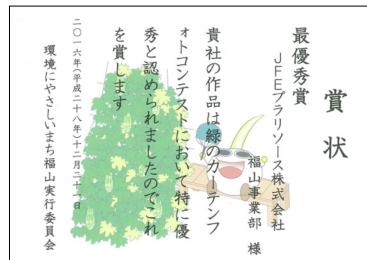
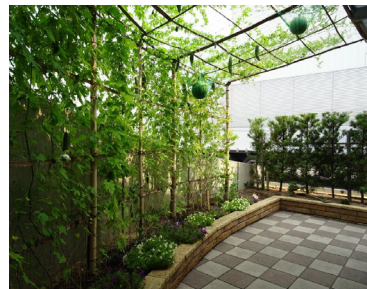
神奈川県は、廃棄物等の発生抑制及び資源の循環的な利用の促進並びにリサイクル産業の育成と振興を図る制度として、「かながわりサイクル製品認定」を行っています。神奈川県内の廃棄物等を原材料としたリサイクル製品である当社のNFボード[®]は2016年11月に認定を受けました。県がめざす「廃棄物ゼロ」社会の実現に向け、常に主体性を持ち積極的に活動します。



緑のカーテンフォトコンテスト 最優秀賞受賞

福山市主催の緑のカーテンフォトコンテストにおいて、当社福山事業部は、2015年度に引き続き2年連続で最優秀賞を受賞しました。

休憩所花壇に花と緑のカーテンを設置し、来訪者や従業員のすべての方々に憩いの場を提供することができました。審査員コメントでは、花壇と一体となったカーテンづくりの工夫に努力しているとの評を頂きました。今後も、緑化活動を通じすべての方々に安寧を感じていただく工場づくりを進めて参ります。



認定・認証ほか

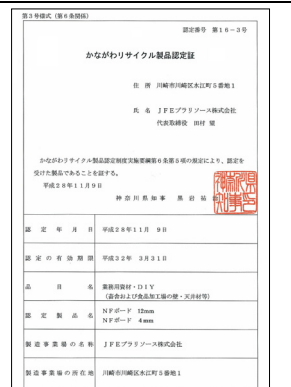
当社独自開発のNFボード[®]は、様々な認定・認証を受けています。一般家庭から排出される容器包装プラスチックを主原料としており、環境にやさしい製品であることに加え、建築資材やDIY資材として用途の幅広さが評価されています。

1) 海外商標登録

商標	: J F E N F - P L A B O A R D
所掌	: 中華人民共和国 国家工商行政管理総局 商標局
認定日	: 2016年9月16日 登録番号 18100179~18100181
所掌	: 中華民国 經濟部 智慧財産局
認定日	: 2016年11月28日 登録番号 01793824

2) かながわりサイクル製品認定

所掌	: 神奈川県
品目	: 業務用資材・DIY
認定製品	: NFボード
認定日	: 2016年11月9日



3) 川崎メカニズム認証

所掌 : 川崎市
 製品名称 : NF ボード
 認証番号 : 25-02
 認証日 : 2014年1月21日



川崎メカニズム認証通知書
 平成26年1月21日

所在地 神奈川県川崎市川崎区水町5-1
 名称 JFEプラチナス株式会社
 代表取締役 堀田 敏夫

川崎市長 堀田 敏夫

平成25年8月30日付で申請された川崎メカニズム認証制度における地球環境負荷の軽減については、川崎メカニズム認証制度第3条第3項の規定により次のとおり認定する。

1 地球負荷量の認証結果	平成25年度
認証番号	25-02
事業者名	JFEプラチナス株式会社高専事業部
事業場所在地	川崎市川崎区水町5-1
製品・技術等名称	NFボード*
認証する地球負荷量	3.13×10 ⁴ t-CO ₂ (製品使用年数1年間)
備考欄	

2 その他
 * この認証結果をもとに、川崎市地球環境化対策の推進に関する条例第9条及び第10条に基づき事業活動の地球環境化対策計画書及び知事報告書に認証等を報告することができます。
 * 事業の実施にあたっては、川崎メカニズム認証制度やウェブサイト使用規定等を遵守して下さい。
 * この認証結果書は、大衆に保管して下さい。

4) 建設技術審査証明

所掌 : 一般財団法人日本建築センター
 技術名称 : 再生型枠「NFボード」
 認定番号 : BCJ-審査証明-210
 認定期間 : 2013年9月26日～2018年9月25日

建設技術審査証明書 (建築技術)

建設技術審査証明 (建築技術)

認定番号: BCJ-審査証明-210

技術名称: 再生型枠「NFボード」

認定期間: 2013年9月26日～2018年9月25日

審査機関: 一般財団法人日本建築センター

審査員: 佐藤 正 氏

1. 審査対象
 再生型枠「NFボード」(以下「NFボード」と称す)は、コンクリート製型枠の再生材として、コンクリート製型枠の廃棄物を再利用して製造される。NFボードの製造工程は、コンクリート製型枠の廃棄物を破砕・選別し、再生骨材として再利用することによって行われる。NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。

2. 審査結果
 NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。

3. 審査の目的
 NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。

4. 審査の趣旨
 NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。

5. 審査の留意事項
 NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。NFボードの製造工程は、環境負荷の軽減に貢献するものと考えられる。

5) 商標登録

所掌 : 特許庁
 商標 : NF ボード
 登録番号 : 第 5481636 号
 登録日 : 2012年3月30日

商標登録証

登録番号 5481636号

商標: NFボード

登録商品又は役務の種類: NFボード

登録者: JFEチール株式会社

住所: 神奈川県川崎市川崎区水町5-1

JFEプラチナス株式会社

岩井良行

6) NET I S (新技術情報提供システム)

所掌 : 国土交通省
 名称 : NF ボード
 登録番号 : KT-090078
 登録日 : 2010年3月26日

NET I S (新技術情報提供システム) 受領通知書

国土交通省 建設省 建設技術情報提供システム

登録番号: KT-090078

登録日: 2010年3月26日

登録者: JFEチール株式会社

住所: 神奈川県川崎市川崎区水町5-1

JFEプラチナス株式会社

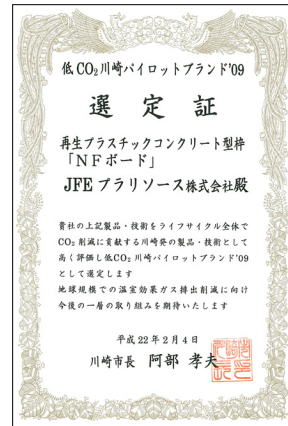
7) 低CO₂川崎パイロットブランド '09

所掌 : 川崎市

認定製品 : 再生プラスチックコンクリート型枠

「NFボード」

認定日 : 2010年2月



8) エコマーク

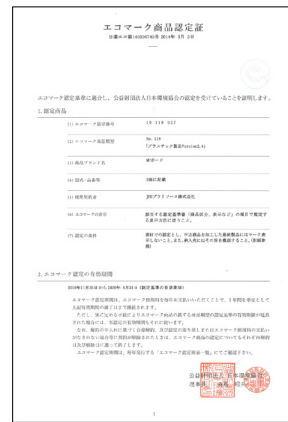
所掌 : 公益財団法人日本環境協会

商品名 : NFボード

認定番号 : 10 118 027

認定期間 : 2010年11月25日~2020年8月31日

類型名 : No.118「プラスチック製品 Ver.2.4」



9) グリーン購入

所掌 : 環境省

分類 : コンクリート用型枠

名称 : NFボード

施工日 : 2008年3月10日



10) 商標登録

所掌 : 特許庁

商標 : NFエコラベル

登録番号 : 第 5812796 号

登録日 : 2015年12月11日



従業員とともに ～安全衛生活動～

安全衛生マネジメント

従業員の安全と健康の確保は、企業の基盤を成すものです。「安全は全てに優先する」の基本理念のもと、不断の努力を継続しています。各部署（工場）は、全社方針に基づき、特性に応じた具体的な管理・活動を推進しています。

2017 安全衛生防災活動方針

1. 基本理念

『安全は全てに優先する』

2. 活動目標

『各職場 完全無災害 の達成』

3. スローガン

『異常時は必ず止めてKY実施』

『先手対策で守ろう仲間の安全』

4. 活動方針

- (1) 先手対策実施とワースト5活動を推進して
『安全で快適な職場を作る』
- (2) 明るい挨拶・指差呼称・5S徹底を通して
『明るくメリハリのあるきれいな職場作り』
- (3) 防災教育&訓練実施による防災基盤の強化
『全員が消火器で初期消火訓練の実施』
- (4) 心と体の健康づくりを推進して
『健康で思いやりの心が通う職場作り』

JFEプラリソース株式会社

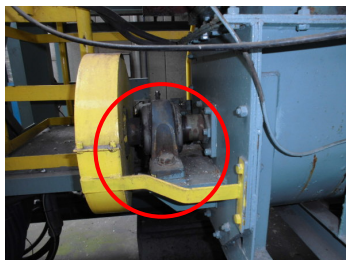




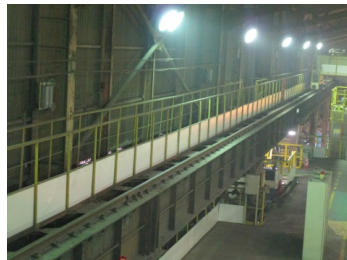
労働安全衛生

労働安全衛生法に基づき、従業員の安全と健康の確保、職場・労働環境の改善に日々取り組んでいます。労働安全衛生の水準を向上し、労働災害の撲滅及び疾病の防止を達成すべく、事業者と従業員が一丸となって活動します。コンプライアンスを誓い、真摯な姿勢で、従業員の安全と健康に配慮し、効果的な安全活動を推進しています。

2016年度安全活動トピックス

事業活動を行う限り、安全活動は常に継続されます。2016年度は「発災リスクの見直し」に注力しました。安全水準のさらなる向上を図ることを目的とし、過去から蓄積された発災リスク管理の適切性や即時性について、新たな視点に立ち再評価するとともに、見落としががないかを管理監督者と職場からの二方向から確認し、ブラッシュアップを行いました。

もうひとつの柱として、規模を問わず積極的に安全投資を行いました。「行動習慣の浸透により維持できる安全水準」と「設備的に維持できる安全水準」を明確にし、有効性の高い安全投資に繋がりました。事業者と従業員が一体となって、それぞれの立場で安全水準の向上への責務を果たすことを確認実行した有意義な1年となりました。

回転体巻き込まれ防止対策	突起物によるつまづき防止対策	手摺隙間からの落下防止対策
対策前 	対策前 	改善後 
改善後 	改善後 	改善後 

防災への取り組み

企業活動において、「防災への取り組み」は「環境への取り組み」と同様に重要です。発災リスクを洗い出し、リスクに対応した適確な管理を行っています。加えて緊急事態を想定し技術標準化することにより、全社で共通認識を持ち、実地訓練を通して防災基盤の強化を図っています。

▶ 防火管理

当社は、全社で年間約7万tのプラスチックを扱う企業です。プラスチックは可燃物であるため、火災を未然に防ぎ人命を守り、近隣の皆さまの財産を守ることが重要課題です。万一の災発生時には初期消火活動を確実とし、被害を最小限に留めることが必須です。

防火管理規定を整備し、職場全員が消火器で初期消火ができることを確実とするため、年間を通じて小集団単位から工場・部署単位まで、さまざまな形態での社内訓練や公設消防署などとの合同訓練を実施しています。

▶ 大規模地震防災管理

甚大の災害となり得る大規模地震発生時には、人命への脅威だけでなく二次災害の発生リスクが非常警戒レベルとなります。津波を含む大規模地震防災規程に基づき、実践的な訓練を定期的に行っています。危険予知の共有化、個人や集団の行動基準、安否確認方法などを、各人が身につけ、一次安全を確保し、二次災害を最小化する対策を進めています。

備蓄品・装備品の整備と棚卸し、機器の動作確認も重要事項として取り組み、漏れがなきよう備えを充実させています。



従業員とともに ～安全・健全な環境に～

完全無災害・無疾病の達成をめざし、安全衛生活動及びすべての従業員の安全意識・技量の向上に取り組んでいます。従業員の身体と心の健康を確保することは、企業の継続的発展の根幹をなすものです。すべての従業員が心身ともに健康であることが、互いに「けがをしない・させない」行動に繋がります。労働災害・疾病のリスクを低減し、メンタルヘルスを推進するため、すべての従業員がいきいきと活躍できる安全・健全な職場環境づくりを推し進めています。

職場パトロール活動

日々のパトロール活動は、大きく分けて安全・衛生・防災・環境の4種類があります。管理者によるものに加えて、職場での自主パトロールにも重きを置きボトムアップを図っています。あらゆる角度から細やかな視点を持って課題を発見し、改善に繋がっています。また、管理者によるパトロールが一方向で終わることのないよう、対話型パトロールを推進し、課題の速やかな改善・解決に努めています。

▶ 安全パトロール

目に見える危険箇所だけでなく、潜在的な発災リスクの発見をするためには、危険予知力が重要です。ヒヤリハット事例などを全社で日常的に水平展開し、安全への厳しい目を養っています。不安全箇所・不安全行動を重点的に洗い出すパトロールを行っています。



▶ 衛生パトロール

快適な職場環境を形成することも大事です。整理・整頓・清潔・清掃・躰の5S活動によって、職場を整えることに日常的に取り組んでいます。

産業医によるパトロールも実施し、医療従事者としての視点でアドバイスを受けるとともに、健康管理・衛生管理の指導を受けています。



▶ 防災パトロール

多量のプラスチックを扱う当社では、防火対策や火災の際の避難経路の確保も重要です。火気管理基準の順守や避難経路の確認、油脂類管理状況について、パトロールする側される側の双方が緊張感を持って実施しています。



▶ 環境パトロール

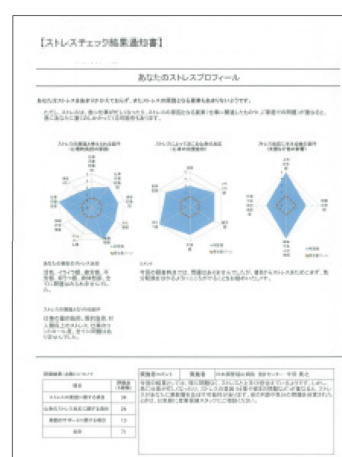
環境事故は、火災と同じく自社のみ被害に留まらず、近隣の皆さまへの被害や環境汚染に繋がる恐れがあります。洗い出した環境事故発生リスク源を中心に職場の演練（本番さながらの演習）を実施し、不測の事態に備えています。



メンタルヘルス及び健康増進活動への取り組み

安全衛生の一環として「思いやりの心が通うメンタルヘルスカケア」を継続して行っています。事業者の従業員への安全配慮義務を果たすべく、産業医の助言を得ながら、年間スケジュール・達成目標を定め、社外専門機関とも連携し活動しています。

メンタルヘルスカケア推進者を任命し、階層別メンタルヘルスカケアを実施するなど、漏れのないケアプランニングを行っています。社外専門機関との連携では、全従業員のストレスチェックテストを毎年実施し、ストレスプロフィールに基づくアドバイスをを行っています。事業者は個人特定に繋がらない方法で集計・分析されたデータに基づき、職場環境の改善に努めています。個人と職場の双方でメンタルヘルスを推進する体制を整えつつ、内容の充実を図っています。



また、毎年春と秋に健康増進を目的とした「ウォーキング月間」を設けています。参加者からは、健康意識の向上、日ごろの運動不足解消に役立つと好評を得ています。



従業員とともに ～やりがいのある職場に～

すべての従業員ひとりひとりが、いきいきと活躍することが企業の体力強化及び継続的発展の礎となります。従業員のモチベーションを向上するため、さまざまな取り組みを行っています。

社外競技会への参加

社外で開催される競技会や合同訓練などに、積極的に参加しています。日ごろの鍛錬の成果を発揮するとともに、社外の方々とコミュニケーションを図りながら切磋琢磨することができる貴重な機会です。従業員の前進力を支援し、モチベーション向上に繋がっています。



業務改善提案活動表彰

従業員による業務改善提案に対する表彰制度を運用しています。コスト削減・収益向上、作業の改善、安全課題の解決、環境課題の解決、5Sの推進などで、業務改善を図ったグループを表彰して、職場の活性化・現場体力の強化を図っています。表彰に至った提案は年間500件近くに達し、従業員のやりがいにも繋がっています。

2016年度表彰実績

種別	基準	件数
事業部長賞	収益向上・改善・安全・環境・5S等で提案実施し、顕著な効果があった	1件
工場長・室長賞	収益向上・改善・安全・環境・5S等で提案実施し、効果があった	343件
提案賞	改善提案として、有用である	112件
		456件

職場活性化No.1活動（SK1活動）

SK1活動とは、従業員が自主的に参加し、平等な立場で行う小集団活動であり、個々の能力を伸ばし活力ある職場づくりを進めることを目的としています。職場活性化に必要な「人の輪」「知恵の輪」「改善の輪」には、コミュニケーションが不可欠です。2016年度は当社の使命である環境負荷低減に加え、コスト削減に注力したグループが多数ありました。従業員ひとりひとりのコストや収益に対する意識の醸成が感じられる実り多き1年でした。年度末の成果発表会では、更なる改善点やステップアップに向けた意見交換が活発に行われ、それぞれの職場の更なる現場力向上へのモチベーションを高めることができました。

2016年度活動実績

区分	テーマ	件数
合理化・能率	都市ガス使用量の削減 ほか	8件
安全	トラックホッパー清掃作業の安全化 ほか	5件
品質・歩留	NF12mmボード合格率アップ ほか	3件
環境	工場清掃作業の効率化 ほか	1件
その他	高収益販売体制の仕組みづくり ほか	2件
		19件

安全大会

安全大会を年度の終わる3月に毎年開催しています。各職場の一年間の安全活動・改善活動の総仕上げとなる発表大会と安全表彰を行っています。

2016年度は、「仲間の安全を守る」、「けがをしない・させない」活動に取り組んだ職場が多数ありました。安全作業の見える化を一步進め、「見せる化」を実行することで、作業安全度の向上や互いに信頼感・安心感を持ち職務に当たることができた結果、より効率的な職場運営に繋がりました。

2016年度より、大会の締めくくりとして安全研修を追加し、意識向上を図りました。全社一丸で一層の安全活動に勤しみ、完全無災害を達成していくことを宣言します。



環境マネジメント

基本方針・行動指針

当社は容器包装プラスチックリサイクルを事業としており、企業活動自体が循環型社会形成に資するものとして、環境マネジメントに取り組んでいます。基本方針・行動指針を以下のように定め、トップレベルの環境配慮型企業をめざしています。

基本方針

JFEプラリソース株式会社は、容器包装プラスチックリサイクル事業を通じて循環型社会の実現に貢献します。環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、環境マネジメントシステムを導入し、環境方針を全従業員に周知するとともに、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

行動指針

- (1) 適用される関連法規及び規制を遵守します。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築し、維持し、継続的に改善します。
- (3) 具体的には、以下の事項に取り組みます。
 - ① 省エネ及びプラスチックリサイクル推進による
二酸化炭素排出量削減
 - ② 用水使用量の削減等による省資源
 - ③ リサイクル率向上等による産業廃棄物削減
 - ④ 工場見学受入・環境展への参加等を通じて、
地域環境教育への積極的取組み
 - ⑤ グリーン購入推進

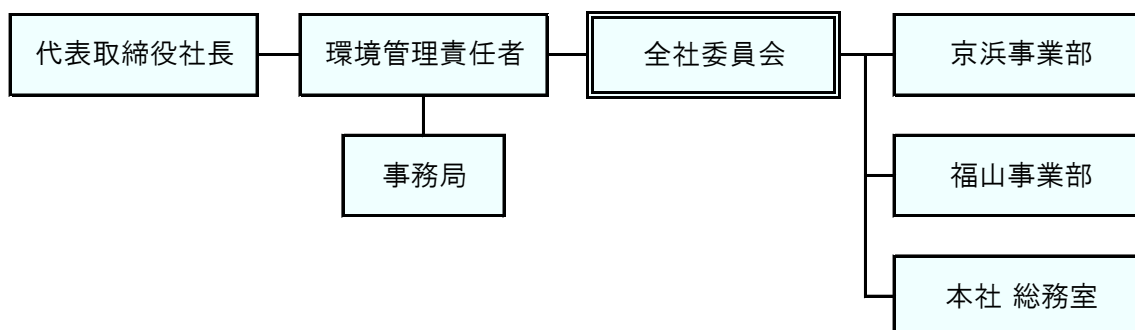
JFEプラリソース株式会社
代表取締役社長

田村 望

環境マネジメント体制

環境に関わる事項を遵守することはもちろんのこと、環境と調和した事業活動を継続的に展開することが、企業が存続していくための基本要件と認識しています。

環境マネジメントシステムを導入し、全員参加型の環境マネジメント活動を進めています。代表取締役社長が環境管理責任者を任命し、環境管理責任者は各部門の活動を統括しています。各部門では、部署長（本社は総務室長）が自身の部門を統括し、上位部門に対して責任を負う体制としています。

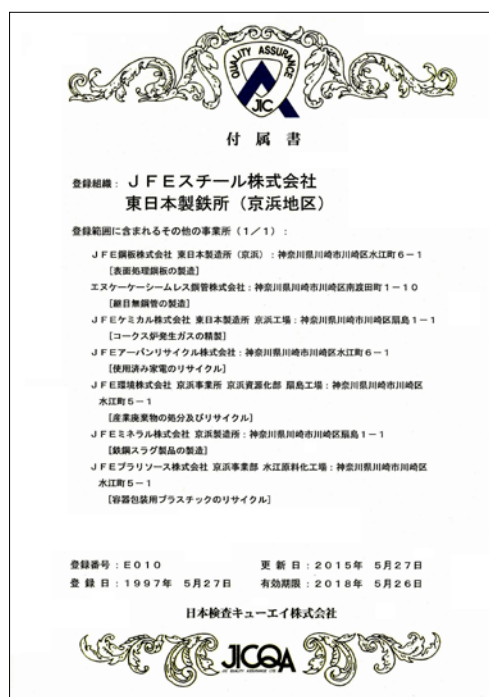


代表取締役社長	環境方針を決定する。 活動の総合評価と方針の見直しを行う。 環境管理責任者、その他の責任者を任命する。
環境管理責任者	全社委員会を運営する。 本社総務室長及び京浜事業部長、福山事業部長、事務局を指揮し、活動を総括する。
事務局	環境管理責任者を補佐し、活動実務を中心的に行う。
全社委員会	活動事項の決定、報告を行う。 代表取締役社長、環境管理責任者、京浜事業部長、福山事業部長、本社総務室長及び事務局で構成し、環境管理責任者が召集する。
京浜事業部長	全社委員会の決定事項に基づき、京浜事業部を総括する。
福山事業部長	全社委員会の決定事項に基づき、福山事業部を総括する。
本社総務室長	全社委員会の決定事項に基づき、本社部門を総括する。

環境認証

▶ 水江原料化工場

JFEスチール株式会社東日本製鉄所（京浜地区）とともに、ISO14001による環境マネジメントシステムを運用しています。立地する東日本製鉄所（京浜地区）一体で取り組むことにより、地域の環境パフォーマンスの向上を推進しています。



▶ NFボード製造工場、福山原料化工場

省エネルギーや省資源など、事業活動に伴う環境負荷の低減について、「エコアクション21」による活動を推進しています。

環境への負荷・取組みの自己チェック、環境方針・環境目標・活動計画の策定、計画の実施、取組の評価、見直しをガイドラインに沿って継続的に実施しています。より実効ある成果を得るべく、会社経営から個々の従業員の取り組みまでを統合して、活動しています。



自己宣言による環境主張 タイプⅡ環境ラベル表示

当社は2015年10月、環境配慮型製品に関する情報をお客様に積極的に公開するため、環境ラベル認証制度の運用を開始しました。これは、ISO14021による自己宣言型環境ラベル認証です。

▶ ISO14021:1999 (JIS Q 14021:2000) とは

「自己宣言による環境主張タイプⅡ環境ラベル表示」は事業者が製品やサービスの環境側面に関する情報を、自らの責任において宣言する場合の国際規格です。規格はJIS規格としても制定されています。当社の事業活動において、有益な環境影響評価を成すものの中から自主評価基準以上の製品を対象に主張します。主張の方法は説明文や環境ラベルロゴマークの表示で行います。

▶ エコマークとの比較

	エコマーク	エコラベル
マーク		
規格	ISO14024 環境ラベルタイプⅠ	ISO14021 環境ラベルタイプⅡ
内容	製品の環境配慮性を (財)日本環境協会が 第三者的に評価認定	製品の環境配慮性が 自主評価基準を満たしている ことを自己宣言

▶ 目的

国際標準化機構（ISO）は、市場主導の継続的な環境改善の可能性を喚起することを目的に、環境表示に関する「環境ラベル及び宣言」を国際規格として制定しています。当社は、容器包装プラスチックリサイクルを事業としており、当該事業において環境負荷の低減を成すことを目的とします。

➤ NF エコラベルの運用

当社は、自己評価基準に基づく環境ラベルとして「NF エコラベル」を設定し、運用しています。環境負荷等の評価項目を設定し、評価項目ごとに前年度の製品製造における実績に基づき、当年度目標値を設定したのち、製品ごとの実績値が目標値を満たすことを評価します。

2016年度は、すべての項目において達成することができました。今後も徹底した実績管理を継続することで基準値の向上をめざします。

2016年度 エコラベル認定基準実績確認表 (NF・SLボード)

大分類	中分類	基準	基準値	達成率
環境負荷	使用電力の削減	製造工場の使用電力の削減	基準値に対し、達成率が70%以上	117%
		⇒ EA21削減目標値に対する基準値の管理		
	化石燃料の削減	製造工場で使用している自動車・重機の化石燃料の削減		113%
		⇒ EA21削減目標値に対する基準値の管理		
水使用量の削減	製造工場の工場運転水及び生活系の節水	129%		
	⇒ EA21削減目標値に対する基準値の管理			
リサイクル率の向上	製品リサイクル率の向上及び格落製品販売(産廃処理削減)	102%		
	⇒ EA21削減目標値に対する基準値の管理			
製造部門リサイクル	プラ屑再利用	製造工場が発生したプラスチック屑の再利用	投入量/破砕処理量=70%以上	88%
		⇒ 容リ月報 破砕工場の破砕処理量		
	製造時の容リプラ使用量	製品重量に対する容リプラを使用し、使用量を把握	70%以上使用している	73%
	⇒ 容リ月報 NFボード製造に対する容リプラ使用量の把握			
製品歩留率の管理	製品歩留率の管理	製品歩留の向上	70%以上	87%
		⇒ 工場操業月報 リペレットNFボード製造歩留の把握		
販売営業部門	OffGrade製品及び端材再利用	不良製品及びボード切断設備で発生する端材の再利用	年間販売量/年間処理量=80%以上の販売実績	83%
		⇒ 容リ月報 副製品製造量の把握		
	使用済製品の再リサイクル	型枠・コイル保護板用途等、使用済みボード回収し再リサイクル	回収実績がある	○
	⇒ 戻りボード回収実績から回収量を把握			
製品評価	製品評価	外部団体にて環境配慮型製品としての認定実績	認定実績	○
		⇒ エコマーク、グリーン購入、NETIS、川崎市低CO2パイロットブランド、川崎メカニズム		

注)表内「容リ」表記は「容器包装リサイクル」の略

環境経営への取り組み

環境経営

当社は容器包装プラスチックリサイクル事業を通じて、環境負荷低減の実現と循環型社会への貢献に努めています。全員参加の環境マネジメント活動を継続展開し、トップレベルの環境配慮型企業をめざしています。

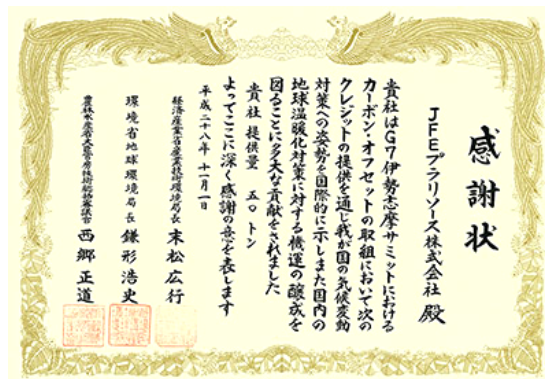
G7伊勢志摩サミットのカーボン・オフセットへの協力

2016年5月26・27日に三重県にて開催されたG7伊勢志摩サミットにおいて、カーボン・オフセットに協力しました。カーボン・オフセットとは、自らが排出する温室効果ガスについて削減努力するとともに、他場所で実現した削減量を購入したり、排出活動を実施すること等により、排出量を埋め合わせ（相殺）することです。

当サミットでは、首脳・代表団や関係者の会場までの移動及び宿泊、サミット会場・国際メディアセンター運営に伴う排出が算定対象となり、総排出量は、26,050 t-CO₂（G7伊勢志摩サミット カーボン・オフセット報告書、平成28年11月1日、経済産業省、環境省、農林水産省、外務省）でした。

官民が協力しカーボン・オフセットを実現することで、わが国の気候変動対策への姿勢を国際社会に向けて示すとともに、国内でも地球温暖化対策に対し更なる理解と協力への機運の醸成を図ることが可能となります。当社もその一翼を担うべく、政府の認証するJ-クレジット制度を利用し参加協力しました。

カーボン・オフセット協力者は、111者（法人85者・自治体26者）、総クレジット量は131,30 tとなり、政府保有の12,920 tを加え全量のオフセットを実施することができました。当社は今後も地球環境保全活動に積極的に取り組んで参ります。



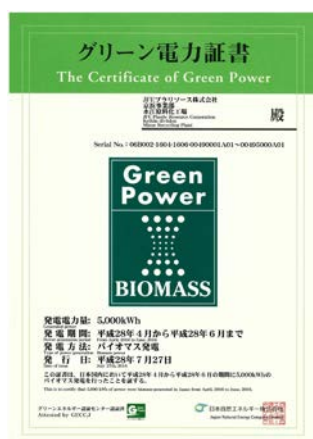
グリーン電力購入

2015 年度より京浜事業部水江原料化工場・NF ボード製造工場と福山事業部福山原料化工場の3工場にて、グリーン電力購入を行っています。

環境省の推進するグリーン電力購入システムとは、自然エネルギーにより発電された電力（風力・太陽光・バイオマス）の「環境付加価値」を、証書発行事業者が第三者機関の認証を得て、「グリーン電力証書」の形で取引する仕組みであり、証書発行事業者を通じて発電設備の維持・拡大などに利用されるものです。

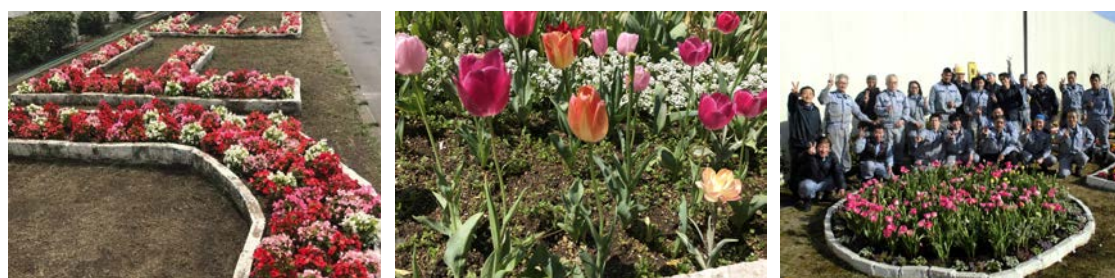
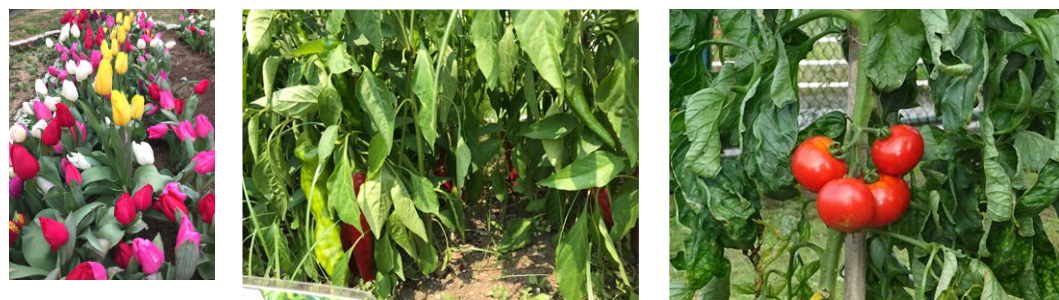
当社は各工場の使用電力の一部をグリーン電力でまかなうことにより、環境にやさしい再生可能エネルギーの普及・拡大を支援しています。

工場	水江原料化工場	N F ボード製造工場	福山原料化工場
電力量	5,000kWh/年 運転監視棟 年間消費量の 10%	5,000kWh/年 P R 室 年間消費量の 30%	5,000kWh/年 事務所棟 年間消費量の 25%
発電方法	バイオマス発電		
発電設備	岡山県 銘建工業株式会社 本社工場 エコ発電所		
'15~'16 積算	10,000kWh	10,000kWh	10,000kWh



環境美化活動 ～ 環境にやさしく、人にやさしく ～

当社の2事業部（京浜事業部・福山事業部）では、年間を通じて工場周辺でのグリーン活動を含む環境美化活動を推進しています。定期的な公道クリーン活動とともに、緑や花の植栽を積極的に行っています。来訪者の皆さまに和んでいただける、従業員にとってホッとできる環境づくりは、当社のめざす「環境と調和した社会の構築への貢献」やエコライフ発信源の役目も果たしています。これからも社内の環境美化活動の「和」を社外と繋がる「輪」とすべく、活動にいつそう邁進して参ります。



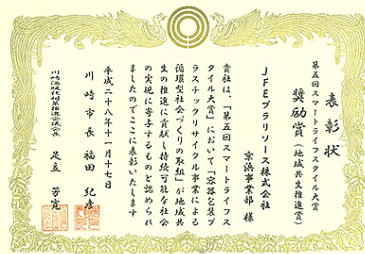
環境コミュニケーション活動

当社は、2016年度を「外部との環境コミュニケーション活動注力元年」と位置づけ活動を行って参りました。自治体・関係団体との協働はもとより、当社の環境活動が皆さまとのコミュニケーションの中心となり、「輪」や「和」が大きく広がることをめざして、積極的に情報開示・発信に努めました。以下にその一部をご紹介します。

4月	<ul style="list-style-type: none"> ❖ 福山市主催 福山市次世代エネルギーパーク施設見学ワーキング部会に出席 ❖ 公道クリーン活動実施 ❖ 「施設の維持管理記録(水江・福山)3月測定実績」を自社HPIに upload
5月	<ul style="list-style-type: none"> ❖ G7伊勢志摩サミットカーボンオフセットへの協力 ❖ 「第1回農水産業支援技術展」(沖縄県)に出展 ❖ NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター(川崎市)第12回通常総会に出席 ❖ 福山市主催「2016年度ふくやまエコライアスロン」に協賛 ❖ 公道クリーン活動実施 ❖ 福山次世代エネルギーパークHPに、「ばら情報」を upload ❖ 「施設の維持管理記録(水江・福山)4月測定実績」を自社HPに upload <div data-bbox="726 1328 1029 1590" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1072 1216 1337 1590" style="text-align: center;"> </div>
6月	<ul style="list-style-type: none"> ❖ エコアクション21「環境活動レポート2016」を発行 ❖ 公道クリーン活動実施 ❖ 福山次世代エネルギーパークHPに、「緑のカーテン通信—その1」、 「緑のカーテン通信—その2」を upload ❖ 「施設の維持管理記録(水江・福山)5月測定実績」を自社HPに upload <div data-bbox="1091 1666 1340 2007" style="text-align: center;"> </div>

<p>7月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ♣ 福山市主催「緑のカーテンフォトコンテスト」に応募 ♣ 公道クリーン活動実施 ♣ 福山次世代エネルギーパークHPに、「緑のカーテン通信-その3」を upload ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)6月測定実績」を自社HPに upload <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>8月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ♣ 「CSR・環境報告書2016」を発行 ♣ 公道クリーン活動実施 ♣ 福山次世代エネルギーパークHPに、「緑のカーテン通信-その4」、「手城学区まちづくり推進委員会 工場見学会のご紹介」を upload ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)7月測定実績」を自社HPに upload <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div data-bbox="759 1379 1123 1458" style="text-align: center;"> <p>人形は、福山市環境マスコット「くわいちゃん」。</p> </div>  </div>
<p>9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ♣ 公道クリーン活動実施 ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)8月測定実績」を自社HPに upload 
<p>10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ♣ 公道クリーン活動実施 ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)9月測定実績」を自社HPに upload

- 11月 ♣ 川崎市第5回スマートライフスタイル大賞奨励賞(地域共生推進賞)を受賞
- ♣ 平成28年度かながわりサイクル製品に認定



- ♣ NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター主催 川崎市との政策懇談会に出席
- ♣ 福山次世代エネルギーパーク施設紹介ビデオの製作で、子役による撮影、ドローンによる工場外観撮影

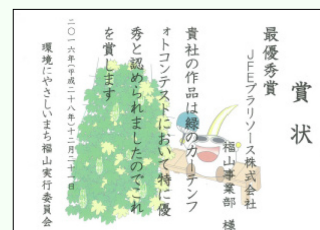


- ♣ 公道クリーン活動実施
- ♣ 福山次世代エネルギーパークHPに、以下を upload
 - 「引野学区のみな様 工場見学会のご紹介」
 - 「ふくやま環境大学の皆様 工場見学会のご紹介」
 - 「倉敷市環境衛生協議会の皆様 工場見学会のご紹介」



- ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)10月測定実績」を自社HPに upload

- 12月 ♣ 福山市主催「緑のカーテンフォトコンテスト」で、最優秀賞を受賞
- ♣ 公道クリーン活動実施
- ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)11月測定実績」を自社HPに upload
- ♣ エコプロダクツ2016(東京ビッグサイト)に出展



1月

- ♣ 公道クリーン活動実施
- ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)12月測定実績」を自社HPIに upload

2月

- ♣ 川崎市主催 川崎国際環境技術展2017に出展
- ♣ 公道クリーン活動実施
- ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)1月測定実績」を自社HPIに upload



3月

- ♣ 福山市主催 第3回福山市次世代エネルギーパーク推進協議会に出席
- ♣ 川崎市主催 かわさき低CO2ビジネス交流会に出席
- ♣ NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター主催 川崎市との政策懇談会出席
- ♣ 公道クリーン活動実施
- ♣ 「施設の維持管理記録(水江・福山)2月測定実績」を自社HPIに upload

2016年度施設の維持管理記録 抜粋 (水江:4~9月、福山:10~3月)

目的	項目	単位	管理値	至近の測定実績						測定頻度	備考	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月			
水江 公害防止	①大気(1系)	ばいじん	g/m ³ N	0.095以下	-	-	0.001	-	-	0.004	3ヶ月毎 (6、9、12、3月)	ライン毎
		硫酸化物	m ³ N/h	1.37以下	-	-	0.10	-	-	0.10		
		窒素酸化物	ppm	218以下	-	-	10	-	-	15		
	①大気(2系)	ばいじん	g/m ³ N	0.095以下	-	-	0.001	-	-	0.002		
		硫酸化物	m ³ N/h	1.37以下	-	-	0.10	-	-	0.10		
		窒素酸化物	ppm	218以下	-	-	5	-	-	5		
	②側溝滞留水	pH	-	5.8~8.6	-	-	7.3	-	-	7.9		
		COD	mg/L	123以下	-	-	5.5	-	-	2.1		
	③臭気	敷地境界	-	23以下	-	-	20	-	-	10		
		ペール置場	-	71以下	-	-	67	-	-	61		
④振動	敷地境界	dB	57以下	-	-	38	-	-	37			
	敷地境界	dB	71以下	-	-	63	-	-	62			

目的	項目	単位	管理値	至近の測定実績						測定頻度	備考
				10月	11月	12月	1月	2月	3月		
福山 廃棄物管理	⑥プラ廃棄物発生量	kg/t	260以下	238	275	266	231	254	266	毎月	工場全体
	⑦プラ廃棄物熱利用効率	%	74以上	73	75	74	76	74	73		
	⑧汚泥排出量	kg/t	56以下	35	42	44	34	40	34		
環境負荷管理	⑨CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /t	230以下	204	206	209	226	228	229		
化学物質管理	⑩消泡剤	kg/t	2.7以下	2.1	2.3	3.2	3.4	3.3	3.3		
	⑪油脂	kg/t	0.11以下	0.11	0.10	0.06	0.07	0.13	0.15		
用役管理	⑫電力	kWh/t	390以下	348	401	415	386	396	401		
	⑬都市ガス	m ³ N/t	11以下	6.5	7.7	7.5	9.7	9.4	8.8		
	⑭蒸気	kg/t	-	-	-	-	-	-	-		
	⑮水資源	m ³ /t	0.24以下	0.24	0.22	0.23	0.20	0.21	0.22		
	⑯車両燃料	軽油	L/t	4.4以下	4.4	4.9	4.6	4.9	4.9	4.6	
ガソリン		L/t	19以下	0	18	9	11	13	14		

品質環境マネジメントシステムの導入

2017年1月1日より品質（ISO9001）ならびに環境（ISO14001）マネジメントシステムを導入し全社にて取り組みを開始しました。これまで地区や部署ごとに運用してきたマネジメントシステムを一本化しました。社内全組織で一丸となり実効ある活動を継続的に行って参ります。

品質環境方針

<基本理念>

JFEプラリソース株式会社は、プラスチック・リサイクル事業を通して、環境負荷の低減を実現し循環型社会の形成に貢献します。

顧客要求事項及び適用される法令・規制要求事項を明確にし、理解し、一貫してそれを満たし、製品及びサービスの適合並びに顧客満足度を向上させる能力に影響を与え得るリスク及び機会を決定し、顧客満足向上の重視を維持した生産・販売活動を行います。

品質マネジメントシステムならびに環境マネジメントシステムを導入し、すべての従業員は、一丸となって品質環境マネジメントに取り組みます。

清算環境保全の重要性を認識し、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ少なくするために、環境マネジメントシステムを導入し、環境方針を全従業員に周知するとともに、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

<基本方針>

- (1) 容器包装プラスチック・リサイクル事業を主体に、顧客満足度の向上、環境負荷の低減を両軸とした生産活動を行ない、事業の発展とともに社会コストの低減をリサイクルにより果たすという目的のため、品質環境マネジメントシステムを導入し、品質環境マニュアルを定め、逸脱することなく事業を行ないます。
- (2) 品質環境マネジメントシステムは、当社のすべての組織、すべての活動、製品及びサービスに適用します。
- (3) コンビナート、エコタウン、次世代エネルギー・パークの構成メンバーとして環境汚染を予防し、事業活動自体の与える環境負荷の低減、事業により成される環境負荷の低減を維持・向上・継続します。
- (4) 関連する法令、その他の要求事項を順守します。
- (5) 品質マネジメントシステムの継続的改善、環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善を推進します。

2017年1月1日

代表取締役社長 田村 望

環境と調和した製品・サービス

使用済プラスチックリサイクル一貫システムを通じて

当社は、一般家庭から排出された容器包装プラスチックを再資源化し、NFボード®を始めとする再生プラスチック製品を社会にリサイクルすることで、循環型社会形成を推進しています。

1) 一般家庭から分別排出

貴重な都市資源として、一般家庭から分別して排出されます。

2) 市町村の分別収集・選別・ベール化

市町村が分別収集し、異物を取り除く選別と圧縮ベール化を行います。

3) 当社で再資源化

当社でさらに選別/破碎/粉碎/塩ビ選別/洗浄/脱水/乾燥し、造粒/ペレット化して、再生プラスチック原料とします。

4) 社会にリサイクル

NFボード®などの再生プラスチック製品に加工し、社会にリサイクルします。

また、製鉄高炉で石炭代替原料として利用し、化石資源の節減に寄与します。



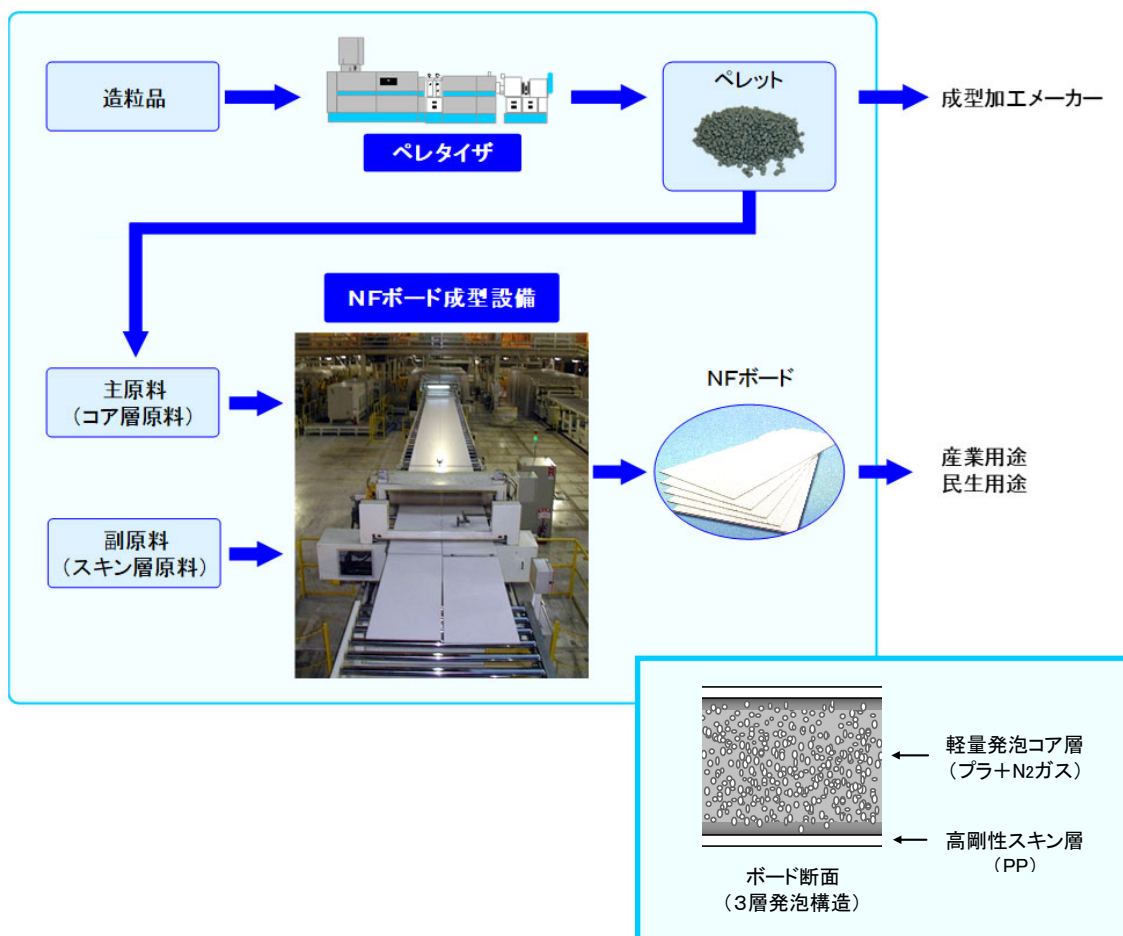
製品を通じて ～ 製品製造から回収まで ～

当社では、容器包装プラスチックの再資源化製品として、再生プラスチックボード「NFボード®」を独自開発しました。

容器包装プラスチックを再生使用した軽量発泡コア層と高剛性スキン層からなる3層構造で、優れた耐久性（耐衝撃性、耐磨耗性、耐水性、耐薬品性）・清潔性・保温性・防音性・自由な加工性（切断、穴開け、釘打ちが可能）・バージン材と同等の扱いやすさを有しています。使用用途は幅広く、農業・畜産業・水産業といった生活に欠くことのできない産業でのご活用を始め、市街では緑化下地材やスケートボード床材など、様々なシーンでご利用いただいております。

また使用済ボードは回収しカスケードリサイクルするシステムも構築し、徹底した資源循環を進めています。

今後も用途開発を継続して行い、幅広いニーズにお応えするとともに新たなご提案にも注力してまいります。



製品を通じて ～ 産学官との関わり ～

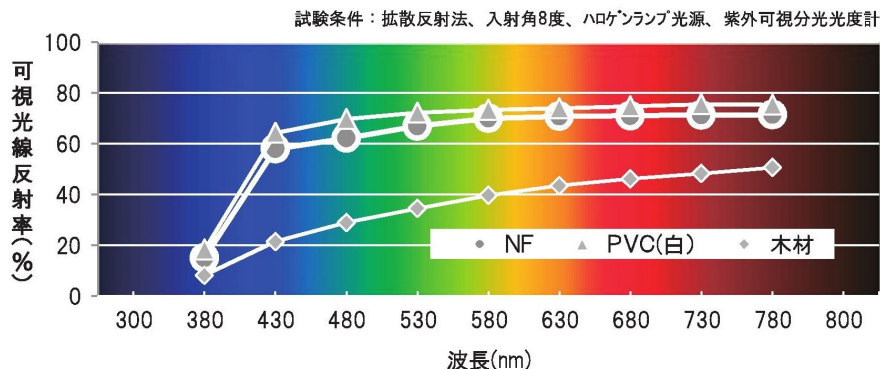
▶ 「産」との関わり

「NFボード®」をより多くのお客様にあらゆるシーンでご利用いただくため、用途開発及び製品の可能性の追求に努めています。

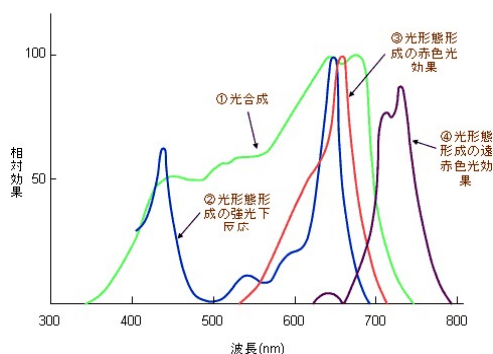
2016年には、反射板用途の提案を新たに開始しました。人が認識できる可視光線は約380～780nmの波長で、例えば、蛍光灯照明の主波長は450～650nmの範囲です。

植物の成長では、光合成には660nm前後、発芽には450nm前後と660nm前後、開花には660nmの波長が重要とされています。「NFボード®」は、栽培設備に一般的に用いられる塩化ビニルボードと同等の反射率を有しています。

▶ 可視光線反射率



▶ 植物の光反応のスペクトル



文部科学省科学技術・学術審議会・資源調査分科会報告書
光資源を活用し、創造する科学技術の振興—持続可能な「光の世紀」に向けて—
平成19年9月5日より。

照明を60～70%反射することから、天井材や壁材に用いることで、見違えるほどの明るさになります。

(写真は豚舎)

NFボード®の持つ耐久性、清潔性などとともに、お客様の多様なニーズにお応えすべく、更なる用途開発を進めて参ります。



➤ 「学」との関わり

当社の「NFボード®」は2017年1月、麻布大学豚舎脱臭室及び更衣室内壁に採用されました。脱臭室は、脱臭装置内を通過した空気を屋外に排出するための空間であるため、夏場になると湿度が非常に高くなります。木材では腐食の問題があり、耐水性のあるNFボード®が採用されました。



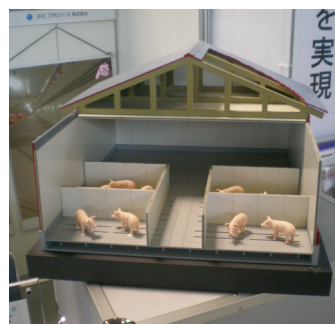
豚舎

豚舎脱臭室

➤ 「官」との関わり

2016年5月、沖縄県宜野湾市にて第1回農水産業技術展（後援：総務省、農林水産省、国土交通省、内閣府沖縄総合事務局ほか）が開催されました。農林漁業者が主体となって、生産から加工・販売まで取り組むことを指す「六次産業化」支援をテーマとした技術展に、当社は「NFボード®」を農業支援技術カテゴリーに出展しました。

2日間の開催で、1,100名余りの来場者があり、当社ブースには、水産・畜産・農業関連の皆さまが多数お立ち寄り下さいました。NFボード®は、第一次産業から行政の掲げる六次産業まで対応しうる製品であり、多くの皆さまのご利用をめざしています。





JFE プラリソース 株式会社

本社・京浜事業部

〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町5番地1
TEL 044-299-5193 FAX 044-299-5328

福山事業部

〒721-0956 広島県福山市箕沖町1-1-3番地
TEL 084-981-3160 FAX 084-981-3170

<http://www.jfe-plr.co.jp>